

● WHITE PAPER

# 音声AI時代の ボイスクローン実践ガイド

ElevenLabsのボイスクローンを題材に、音声AIの制作活用と安全な扱い方を整理する実践ガイド。

VOICE AI • ELEVENLABS • 2026.05



# ElevenLabsは「音声を作る・変える・届ける」ための制作ツール

## Text to Speech

テキストから自然なナレーションを生成。動画、講座、SNS、説明コンテンツに使いやすい。

## Voice Cloning

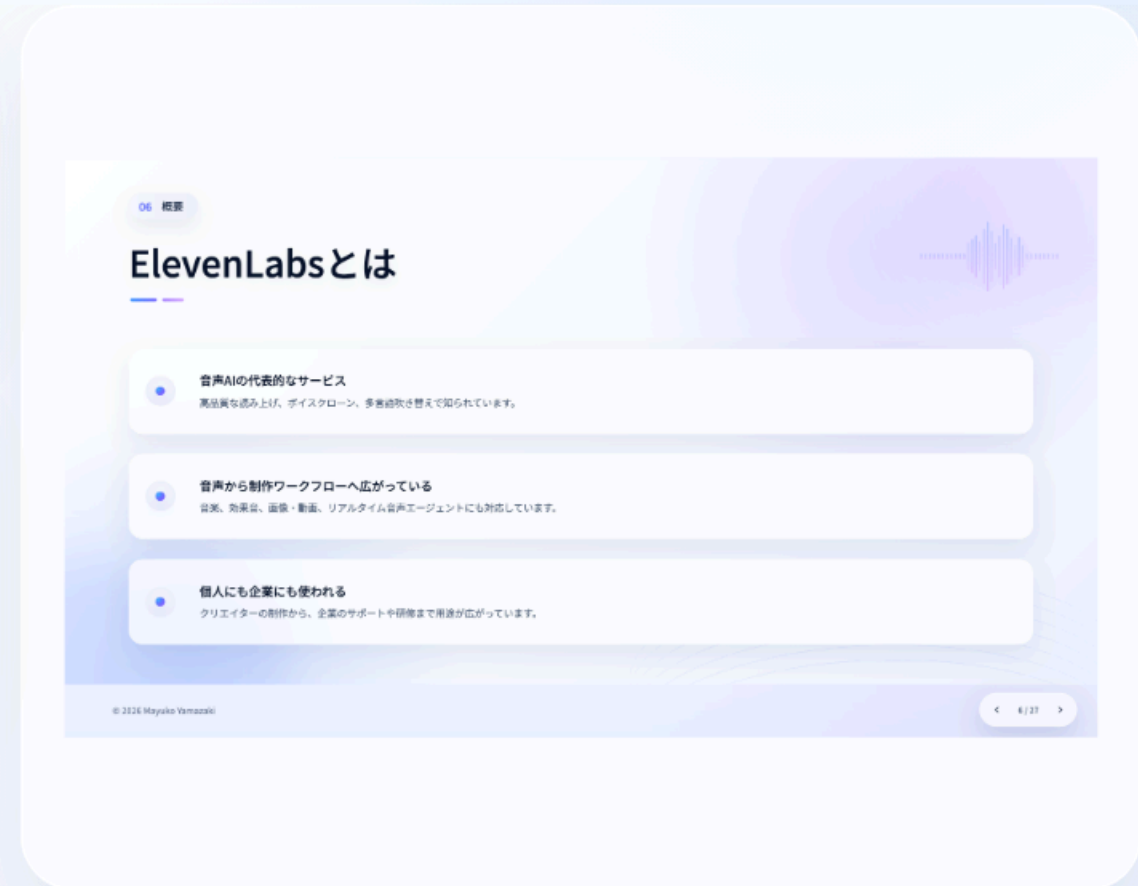
自分の声に近い音声モデルを作り、録音できない日でも制作を進められる。

## Dubbing / Voice Change

動画の多言語展開や既存音声の変換に活用。教材・海外向け発信と相性が高い。

## Studio / Agents

音声編集や会話型AIにも拡張。録音済み音声からリアルタイム会話まで扱える。





# ボ이스クローンは「すぐ試す」と「継続して使う」を分けて考える

## すぐ試す

### Instant

- 短い音声サンプルから作成
- ほぼ即時に検証できる
- 短尺ナレーションや体験向き

## 育てる

### Professional

- 長めの音声で専用モデルを学習
- 再現度を高めたい用途向き
- 公開・収益化を考える中心

## 録音品質が仕上がりを決める

静かな場所、反響の少ない部屋、一定のテンション。ノイズやBGMは声のモデルにも残りやすい。





# 音声AIを安心して使うための5つのチェック

**1 許可が明確な声だけを扱う**  
自分の声、または権利・同意が確認できる音声に限定する。

**2 AI音声でだます用途に使わない**  
広告、教材、社内利用でも必要に応じて明示する。

**3 公開範囲と用途を先に決める**  
限定利用と公開ライブラリ登録ではリスクが変わる。

**4 重要判断は声だけで確認しない**  
お金や契約は別チャンネルで確認するルールを作る。

**5 小さく試し、良い録音で育てる**  
継続利用するなら録音環境と音声データを整える。



## 結論

音声AIの価値は「本人が毎回録らなくても、本人らしい伝え方を増やせる」こと。だからこそ、安全な使い方を先に決める。